令和８年度 第２回 高齢者福祉専門分科会	当日配布資料 1
令和８年10月30日（金）	

第10期計画における施策体系案に対する意見

	【施策体系について】
1	（基本目標１について）案1・案2を合併して「高齢期を支えるサービスの充実による自分らしい生活の継続」とするのはどうか。
2	（基本目標１について）令和7年3月の答申で強調されている「地域社会とのつながり」や「地域住民のつながり」の文言引用が可能か。
3	（基本目標３について）「関係性」という資源づくりの表現の方が適当ではないか。
4	第9期の施策に「認知症への理解」があるため、第10期にも認知症に対する項目があった方が良いのではないか。
5	高齢者本人、家族、介護関係者など立場で見方や求める内容が異なるため、重点によって計画内容が変わると思われる。
	【基本目標(1)-1 介護予防と健康づくり】
6	要介護リスクに関して、アンケート結果を踏まえ、機能低下者・IADL低下者対策に具体的に取り組んでいくのはどうか。
	【基本目標1-(2),(3)】生活支援サービスの充実・安心して暮らし続けられる住まい】
7	声かけ・見守りについて、高齢者のニーズはやや低い一方、ケアマネジャーや市民の協力意向は高く、そのギャップの原因を追求すべき。
	【基本目標1-(4) 持続可能なサービス提供体制の構築】
8	認知症サポーター養成講座や勉強会強化の必要であり、介護人材への社会的評価の向上と自分ごと意識の重要である。
9	「介護の魅力発信」を行政としてどのように実施しているか問う。
	【基本目標2-(1)相談支援体制の充実】
10	認知度は上がっているがＰＲや地域での出張相談が今後重要である。
	【基本目標2-(2)在宅医療・介護連携の推進】
11	人生会議（ACP）の認知度は低く、家族内の啓発が必要である。
	【基本目標2-(3)最期への備え】
12	地域でのつながりが14.6％と低く、「自立」とは助けてくれる人を多く作ることだとしたい。
	【基本目標2-(4)介護に取り組む家族等への支援】
13	認知症対応が多く、労力を要する中での不安あり。知識不足が課題。支援体制研修のマッチング必要である。
	【基本目標3-(1)多様な社会参加の促進】
14	介護業界は人材不足しており、高齢者の仕事場所提案をすることが重要。
15	退職後の身体・精神的低下など課題となっているため、シルバー人材と組み、高齢者に限って募集するのはどうか。
	【基本目標3-(2)誰もが共に暮らす地域】
16	地域の居場所づくりやつながり強化が必要である。
17	認知症認知度低く、認知症教育・サポーター養成強化必要であり、フレイルや認知症施策折込必須だと思われる。
	【その他】
18	「基本目標1-(1)」の結果まとめについて、「要介護リスクは」という文に、「後期高齢者が多くなった為」といった文言を加えたらどうか。
19	「結果・まとめ」欄の下に「課題・仮説」の欄を設けてデータ分析結果から「どうするか」の方向性を示すべ
20	参加割合上昇は当然のことなので「改善」だけでなくコロナ禍以降のトレンドを踏まえた説明や客観的評価の必要である。